



B5 病棟 (課長)

A5 病棟 (課長)

MEN IN NURSING

男性だからこそできることがあります！

この存在価値の発見が自信となり、さらなる成長につながります。

[2021.10月現在65名]

先輩男性看護師に聞いてみました

01 看護職に男性が必要だと感じたことは？

女性の視点だけでなく、男性の視点も含めて多角的に患者さんを捉え看護につなげていけるため、男性看護師の存在が必要だと思います。また、女性が多い職場の中に男性がいる事で職場の雰囲気や和やかになると感じています。(B5課長)

02 仕事のやりがいとは？

第一に元気な姿になる患者さんを見る事です。患者さんやその家族が、笑顔で生活できるように支援できていると実感した時にやり甲斐を感じます。またスタッフ達が、日々葛藤しながらも自身の看護を实践でき、成長を感じた時に嬉しく思います。(A5課長)

03 就職を希望される方へのメッセージ

看護師は患者さんの人生に寄り添いながら、その人の「生きる」を支える事が求められます。その為自身の思い、創造次第で患者さんによりよい看護を提供する事ができ、やりがいのある素敵な職業だと思います。聖隷浜松病院で自分の「したい看護」を実現してみませんか？(B5課長)

聖隷浜松病院は、「自分のしたい看護」を支援します。そして、そのしたい看護を実践している先輩達が目の前にいます。安心で安全な看護を提供する為、日々学び知識を深めると共に、一緒に目標に向かう仲間をつくることも大切です。是非みなさんと一緒に、いきいきと働けることを願っています。(A5課長)



親にもなったことのない自分が育児指導なんてできるのかと思いましたが、ひとつひとつ育児手技を習得するうちに、赤ちゃんに関わることがとても楽しくなりました。今では赤ちゃんやゆっくり関われる沐浴の時間が大好きです。

GCU (新生児科) / 2016年就職



妹が入院した時に会った温かい看護師に憧れ、夢見た職業。入職時は不安で一杯でしたが先輩方に支えられ看護にやりがいを感じています。「患者さんの持てる力を最大限に引き出す」をモットーに笑顔で関わるようにしています。

A6病棟 / 2019年就職